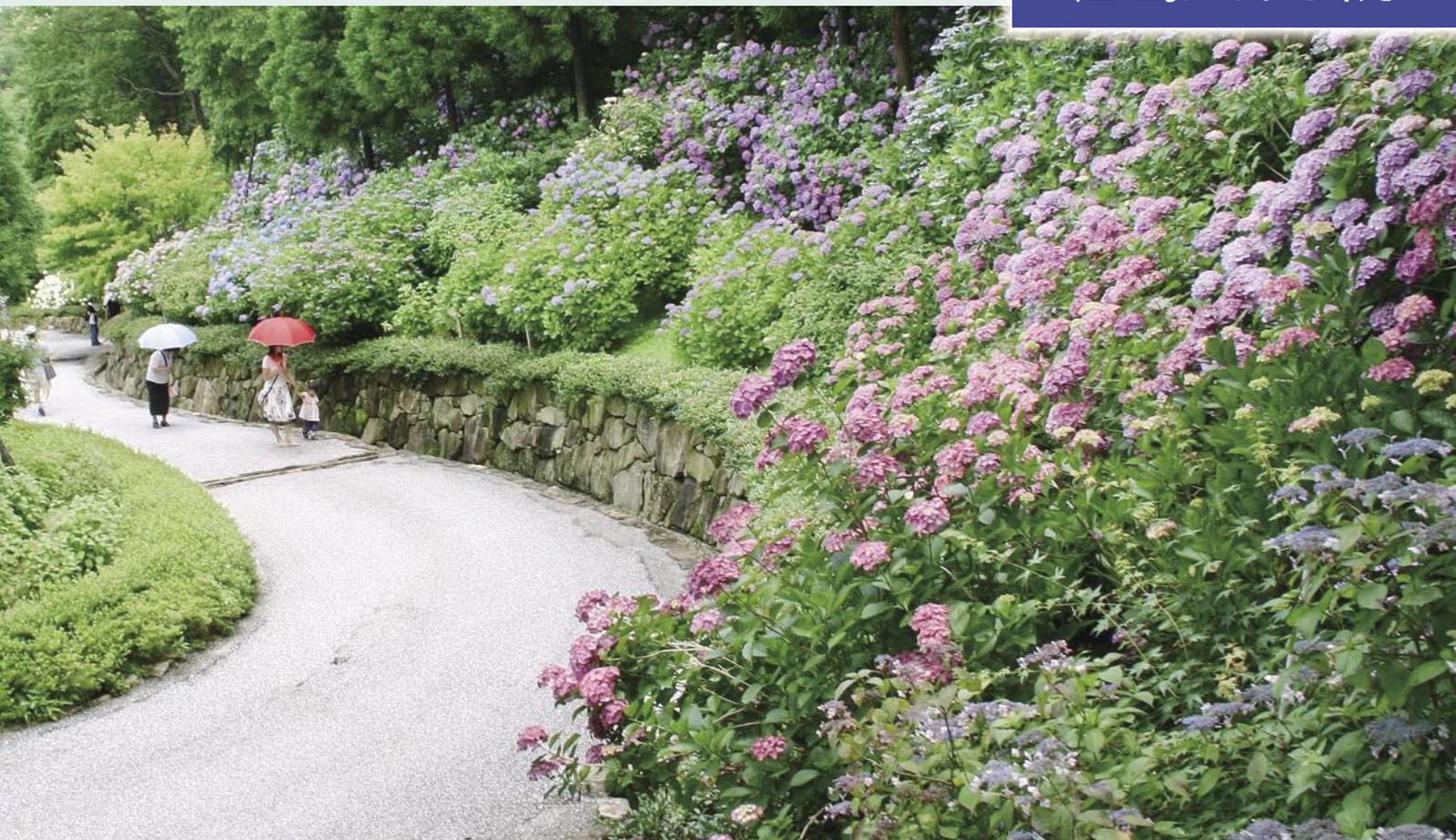




The 80th Anniversary

おかげさまで  
創立80周年  
広島国際学院



「あじさい（三景園にて）」 撮影＝自動車短期大学部 准教授 越智三千彦

大胆に生まれ変わる広島国際学院大学

特集 大学改革	2-3
研究科長、学部長および主任教授就任の挨拶	4
新任教職員挨拶	4-5
入学式	大学・高校 5
快速発進、バイオ燃料研究	工学部 6
スーパーサイエンススクールを指導して	情報学部 7
「広島アニメーション文化シンポジウム」を開催	現代社会学部 8
3年連続！一級整備士（筆記試験）全員合格	短期大学部 9
高校から発信	10-11
校友会主催・新入生オリエンテーション	12
私の大学生活	12
留学生の声	13
学生時代の思い出と社会人になって思うこと	13
研究室・研究者紹介	14-15
学生の意欲を応援、充実の奨学制度	16
学生証のICカード化について	16
今後の主な行事予定	16

広報

第70号

平成19年6月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>

# 生まれ変わる広島国際学院大学！

## 工学部から“新しい工学部”へ

工学部では、現在、“新しい工学部”立ち上げに向けて作業を進めております。全国的にもあまり例のない工学部の一学部一学科制です。また、一つの専門にとらわれない幅広い工学知識、技術・技能をもつ技術者を育成するために主専攻・副専攻制を取り入れます。

広島国際学院大学の教育・研究の理念として、「信和、協同、実践」があります。「信和」は辞書にはありませんが、自分を信じ自信を持つことによって和らぎと余裕を持つことが協同、実践のベースなのです。この理念に添った教育・指導を実践という方法で継承・強化し、“地域、或いは地域産業のひとづくり”、即ち、「地域の青少年を地域と共に育て、地域を担う人材を育成する」ことを新しい工学部教育の基本に据えます。地域になくてはならない人材を輩出することが新しい工学部の基本目標なのです。

### ● 変わりません！ 学問分野

とは言え、本学の工学教育で変えてはならない部分があります。日本の産業界が自信を回復する一方で技術者不足が深刻になっています。本学工学部は技術者育成の一翼を担い、100パーセントに近い就職率(求人数は30社／1学生)を確保してきました。地域でも数少ない工学部を有する大学として、技術者輩出という地域、産業界に果たすべき使命・義務を放棄するわけにはいきません。一人一人を大切に「きめ細かい教育と手厚い指導」という基本方針は踏襲します。学問分野も従来と変えず、**工学部 総合工学科として①バイオ・リサイクル専攻 ②機械システム専攻 ③電気システム専攻**を主専攻として残すと同時に、基礎学力教育、大学院・修習技術者(技術士補)受験指導に向けて、**④基礎理工専攻**を設置いたします。

### ● 変わります！ 教育・指導手法

地域産業界から、工学の専門知識教育もさることながら、実体験教育、地域に貢献できる人材育成(積極性、協調性、発想能力等)が求められています。工学部が変わるのは、「**広島国際学院大学方式**」ともいえる教育・指導手法なのです。

座学中心の授業から実体験型のグループによる授業を副専攻の中に取り入れました。「ものづくり&キャンパスリサイクルセンター」を設置し、「産学官連携事業」をより強化する中で、地域企業と連携した教育を展開します。教員グループ、或いは企業の方々の指導を受けながら、学生の運営による幾つかのモデル企業(学生ビジネス機構)を立ち上げ、企画・立案から設計・製作を通して販売までを実体験する授業(ものづくり科目)を設定します。

例えば、新エネルギー開発、植物工場、循環型農場、省エネシステム開発、機械加工等々で、電気、機械、微生物・遺伝子技術、リサイクル技術、材料技術を総合的に習得します。会計・経理実務、マーケティング、更には資産運用といったことも技術者にとっては重要な実務技術なのです。

こうしたグループによる実体験授業を通して、**①協調性、発想能力、積極性といった実務能力を身につけること ②資格取得を含む多様な技術・技能を身につけること ③地域産業の実態に触れ学生自身の“将来”を見つけることが目的**です。そして何よりも、**④生き生きとした学生の個性と新しい能力の発掘**に努めたいと思います。“先ず動くこと”が、地域が求め、地域に愛される人材だからです。

また「ものづくり&キャンパスリサイクルセンター」では有用資源リサイクル、リユース部品による“ものづくり”を通して、資源、エネルギーの有効利用を実体験するとともに、環境調和型技術の考え方を学びます。

これらの実務、実体験教育は他大学に例のない技術教育・指導手法と自負しています。本学が数年掛けて模索してきた新しい手法の中で元気な学生が育っています。もちろん我々教職員にとっても新しい挑戦であり、学生とともに勉強しなければなりません。



## 情報学部から情報デザイン学部へ

情報が膨張を続ける社会では今以上に人間を重視する情報デザインが必要とされています。

平成20年度から、コミュニケーションをデザインする「**コミュニケーションデザイン**」、ネットワーク環境をつくる「**コンピュータネットワーク**」といったICT\*の中核を学ぶ2専攻に、動画やゲームの制作を学ぶ「**メディア・エンターテインメント**」を加えて情報デザイン学部として生まれ変わります。

● **メディア・エンターテインメント専攻** 時代が求める多彩なデジタルコンテンツをプロデュース。表現力と実践力を備えたクリエイターを育てます。

新しい時代の情報発信者として、「情報デザイナー」に求められる仕事やスキルは多岐にわたります。メディア・エンターテインメント専攻では、CGやゲーム、映像やサウンドなどのデジタルコンテンツ制作をメインに、その担い手となる表現力豊かなクリエイターの育成をめざします。

今やアニメーションに代表される日本の映像関連産業は、そのクオリティの高さで世界中から注目を集め、国家レベルのプロジェクトとして21世紀を担う成長産業の一つに位置づけられています。本専攻ではこうした現状をふまえ、特に経済や産業とも密接に関わるエンターテインメント性に着目して、社会のニーズに対応した魅力的なコンテンツづくりのための実践的な教育を行います。

実習中心のカリキュラムにより、メディアを自在に操るスキルと、情報化社会を見据える幅広い視野を持ったデジタルクリエイターの育成が期待されます。

● **コミュニケーションデザイン専攻** クオリティの高いコンセプトと表現によって人とシステム技術を豊かに結ぶためのコミュニケーションデザインを学びます。

グッドデザイン賞(Gマーク)では、カタチをもたない「コミュニケーションデザイン」が2005年に大賞を受賞しました。これは、プロセス全てをデザインするこの分野が現代社会に不可欠なものとなっていることを示します。今、いつでもどこでも快適なネットワークが利用できるユビキタスネット社会が求められ、さらに、ほしい時に必要な情報が使用できて、直感的でわかりやすい情報のコミュニケーション社会が求められています。

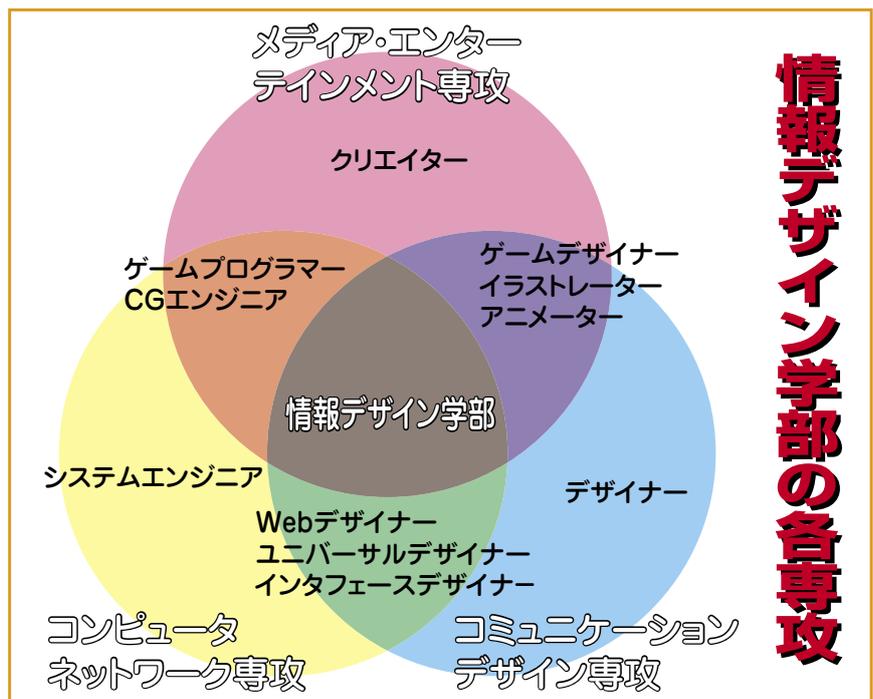
本専攻では情報ネットワークをもとに、多様に発展するコミュニケーションの基礎、デッサン、インタラクティブデザインなどの学科目を学びます。これらを通して、柔軟な発想、思考のプロセスと豊かな表現を学び、Webデザインをはじめとした人とシステム技術をつなぐ、グローバルに社会を見据えた視野の広いコミュニケーションデザイナーの育成を目指します。

● **コンピュータネットワーク専攻** インターネットの基盤技術を学べる専攻であり、全世界で通用するネットワークの資格であるCCNAの取得を強力にサポートしています。

この専攻では、日常生活では不可欠になってきたインターネットの基盤技術を学びます。今後発展が見込まれる、人ともものをつなぐコンピュータネットワークの構築や管理に取り組める技術者を目指します。カリキュラムは、コンピュータネットワーク技術を中心に、情報処理の基礎となる計算機技術、プログラミング手法、通信の世界に欠かせないセキュリティなど、広く網羅しています。

全世界で通用するネットワークの資格であるCCNAの取得を支援する授業では、ネットワークの運用・管理まで幅広い知識・技術を身に付けられ、実戦に強いネットワーク人材の育成に力を入れており、高い合格率を誇っています。

※ICTの「C」はコミュニケーションの頭文字です。



情報デザイン学部の各専攻

工学部・情報デザイン学部は2008年4月改組 文部科学省へ届出中。

# 研究科長、学部長および主任教授就任の挨拶

工学研究科長 **ひだか やすはる**  
**檜高 靖治**



本学に工学研究科が設置されて、約10年になります。地域および産業への貢献を担う部門として、大学の社会的役割の一翼を担っています。学生諸君には向上心を掻き立て、一段上を見ながら知的探求心を磨き、社会からの要請を実感する場を提供しています。社会の中で知的貢献を担う場として、大学の役割が一段と重要になっています。その活動の充実に、一層努力していきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

現代社会学研究科長・現代社会学部長 **さこ かつのり**  
**迫 勝則**



学部長拝命にあたり、私は、教員の皆さんに「日本一楽しい学部にしましょう」と呼びかけました。そもそも「スクール」の語源は、ギリシャ語の「スコレ」です。「スコレ」とは、「学ぶ」という意味と「遊ぶ」という意味が表裏一体となって生まれた言葉です。つまり、学ぶということは、遊ぶということと表裏の関係にあり、人生最高の楽しみのひとつなのです。楽しい大学には、多くの学生が集まってきます。これから皆さんと一緒に、楽しい学部にしたいと思っています。

工学部長 **えんどう としろう**  
**遠藤 敏郎**



多くの大学が厳しい状況に置かれる中で学部長を仰せつかりました。魅力ある工学教育、地域に愛され、地域に貢献できる技術者育成、本学部ではこんな教育を展開したいと考えています。幸い、優秀な人材を輩出した実績と教職員を含む財産の蓄積があります。これをいかに地域へ還元していくかが重要な使命と考えています。学生諸君の力を最大限に生かした運営が求められていると認識しております。教職員、学生諸君のご支援をお願いいたします。

工学部 バイオ・リサイクル学科主任教授 **ささき けん**  
**佐々木 健**



バイオ・リサイクル学科の主任教授を拝命いたしました。学科設立4年目になり、ようやく設立の趣旨がほぼ達成できつつあり、また、学生教育も軌道に乗りつつあります。学科構成員がベクトルを一つにして、よりまとめて、さらなる教育研究にまい進できる環境づくりを目標として、全力を注ぐ所存です。とにかく、「明るく楽しく夢を追う、バイオ・リサイクル」を目指します。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

## はじめまして 新任教職員挨拶 よろしく

しのはら たかひろ  
**篠原 隆弘**  
現代社会学科教授

都市と地域の社会学研究を主にフィールド・データに基づいて進めてきました。学部では都市社会学、地域生活計画論等を、院では地域社会組織論特論を担当いたします。若人と交じり学び直しを目指しています。



はやし ただゆき  
**林 忠之**  
自動車工業科教授

マツダ(株)と部品メーカーで、合計37年間研究開発分野の仕事に携わってきました。自動車産業の一角を支える若い人材を育てる機会が自分に与えられた幸運に感謝しています。シャシ構造、自動車性能などを担当します。



おかだ だいじ  
**岡田 大爾**  
情報工学科准教授

2年前まで国公立の中学・高校に勤めていました。本学では、教職科目を担当します。これまでの学習、部活動、教育実習等の指導や研究主任として教育改革を行ってきた経験を生かして微力ながら頑張りますので、よろしくお願いたします。



おかべ まさかつ  
**岡部 政勝**  
現代社会学科准教授

民間企業(マツダ)で、商品開発企画を中心にマーケティング全般(揺り籠から墓場まで)を仕事としておりました。皆様と一緒に、元気なキャンパスライフを過ごせるよう努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。



**ユーケリア・ドネリ**  
情報工学科外国人講師

アイルランド出身ですが、大分県で8年間暮らしました。コーク国立大学の演劇学部に学び、特に大学院では演劇が異文化交流に与える影響について研究していました。本学では主に英語を担当します。よろしくお願いいたします。



わかばやし よしひろ  
**若林 義啓**  
情報デザイン学科講師

以前は経営工学を専門にしておりましたが、現在は情報教育を研究しており、特に学習者の気持ちに注目した研究を行っています。本学では総合教育センターで情報教育を担当しておりますのでよろしくお願いいたします。



えんどう じゅんいち  
**遠藤 潤一**  
情報デザイン学科助教

東京でシステムエンジニアとして企業に4年間勤めておりました。情報リテラシーに関する講義を担当します。企業での経験を活かし、実践的かつ分かりやすい講義を心がけたいと思っております。よろしくお願いいたします。



おがわ けんいち  
**小川 健一**  
高校教諭

高校生は可能性のかたまりだと思います。高校生活を通じて、生徒が夢や希望を持ち、実現できるよう一生懸命がんばりたいと思っております。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



かわかみ としゆき  
**川上 敏行**  
高校教諭

初めての担任で慣れないことも多々ありますが、気張らずマイペースでやっています。まだまだ未熟で皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



つきやま ちかこ  
**築山 千賀子**  
高校教諭

今年度より専任教諭として勤務させていただくことになりました。8年目ながら初心を思い出し、諸先生方のご助言を賜りながら、精一杯頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。



やの ふみたか  
**矢野 文隆**  
高校教諭

私自身、まだまだ人間としても未熟者ですが、教育に携わる者として強い情熱を持ち、確かな力量と総合的な人間力を高め、生徒一人ひとりの夢や希望を育めるよう精一杯頑張ります。ご指導よろしくお願いいたします。



いとみつ もりひろ  
**糸満 盛弘**  
学生部短大学事課長

県立学校に長い間勤めておりましたが、4月より本大学にお世話になりました。大学も厳しい時代に入っておりますが、前進、前進、また前進で本大学のために役立つことが出来れば幸いです。



**【大学・短大】** 前日の雨と風が嘘のような青空に満開の桜が映える4月5日(木)、平成19年度大学・短大合同入学宣誓式が本学中野キャンパスで行われました。式辞に立った今村詮学長は「本学の教育は『教学相長』を目指しています。積極的に教員と接することで自発的に学ぶ喜びを覚え、生涯向上心を持って過ごされるよう期待します」と入学生を励ました。表千家流茶道部による恒例の入学祝賀茶会も開かれ、入学生や保護者らがくつろいだ表情でお茶を楽しんでいました。



入学宣誓式



高校入学式

**【高校】** 校門の桜はまだ散らず、三迫川川辺の菜の花も目に鮮やかな4月8日(日)、広島国際学院高等学校第61回入学式が行われました。359名の新入生を代表して相島佳奈さん(坂中学校出身)が「入学の誓い」を力強く読み上げました。長野政義校長は「感動する心こそ人間を成長させる源です。3年後、卒業する時には皆さん一人ひとりがこの学校に来てよかったと言ってくれると確信しています」と述べました。式とホームルームが終わった正門付近は、記念写真に収まる新入生と保護者で例年以上の賑わいでした。

陽春に咲く笑顔  
入学式

(財)サタケ技術振興財団 第4回研究助成発表会にて成果発表  
**快速発進、バイオ燃料研究**

**工学部**

バイオ・リサイクル学科講師

なかむら まさよし  
**中村 格芳**



昨年度、財団法人 サタケ技術振興財団 平成18年度大学研究助成金に採択され、バイオ燃料に関する研究を行いました。

近年、環境問題への意識が高まるなか、石油などの化石燃料に代わる燃料として、さまざまなバイオ燃料が研究されています。これらの燃料のうち、トラックやバスなどのディーゼル車の燃料として期待されているのがバイオディーゼル燃料です。バイオディーゼル燃料は、一部自治体において路線バスやパッカー車(資源回収車)に試験的に導入されているところもあります。本研究では、バイオディーゼル燃料やその他バイオマスをを用いた燃料の性能評価を行うことを目的として平成18年度より研究をスタートさせました。

研究開始初年度となった昨年度は、廃てんぷら油由来バイオディーゼル燃料の安定した製造方法の確立と、その排ガス分析に着手しました。バイオディーゼル燃料を製造した結果、廃てんぷら油は様々な種類の油、水分、夾雑物を含み、これらの比率が回収した廃てんぷら油によって大きく異なるため、出来上がる燃料の品質に大きな影響を及ぼすことが分かりました。このため、回収した廃てんぷら油の状態によって製造方法を調節し、一定品質の燃料を製造するか、逆に、製造方法は固定し、出来上がる燃料の品質に幅を持たせるかが今後の検討課題となりました。

以上のような研究結果を(財)サタケ技術振興財団に報告したところ、平成19年3月7日の第4回研究助成発表会において成果発表の機会を頂きました。写真は発表時の様子です。まだまだ始まったばかりの研究ですが、ご期待をお寄せ頂いた(財)サタケ技術振興財団に感謝するとともに、今後の研究活動への励みにいたします。

**新入生オリエンテーション**



**イベリコ豚ステーキに舌鼓！ 電気電子工学科**

4月9日(月)午前11時、立町キャンパスにおいて本学科の新入生オリエンテーションは始まりました。まずプロジェクトを使った学科の説明の後、全教員の自己紹介を行いました。次いで学生の自己紹介が始まると、趣味や将来の夢の話で盛り上がり、緊張していた空気も打ち解けていきました。その後、近くのひろしま国際ホテルに移動し、14階にあるレストラン「ル・トランブルー」で会食。豪華なイベリコ豚ステーキのランチをわいわいいただきました。花見シーズンの市街地の華やかな雰囲気もあって、学生と教員の親睦が深められた有意義な会となりました。

**ボーリングで親睦 機械工学科**

新入生と教職員の親睦を深めることを目的とした新入生オリエンテーションが、4月9日に開催されました。まず、市内のラウンドワン広島店に集合し簡単なミーティングの後、新入生と教職員が13レーンに分かれてボーリングをしました。ゲームが進行するにつれ各レーンから歓声が上がリ、学生の会話に教職員も加わってたいへん和やかな雰囲気でした。その後、立町キャンパスに移動し、昼食を兼ねた懇談会では、教職員の紹介や授業のアドバイスなどが行われ、学生生活スタートに大きな手助けになったものと思われま



**笑顔もはじける歓迎パーティー バイオ・リサイクル学科**



4月9日に学生会館3階で開催された“バイオ・リサイクル学科新入生歓迎パーティー”には、新入生48名(全員出席)、手伝いに参加してくれた在学生42名、教職員13名の計100人超が集合。本学科の完成年度とも相まって、会場スペースギリギリの大入り満員でした。パーティーでは、教職員の自己紹介、在学生からのサークル勧誘、自己紹介等、年齢を超えた親睦を深める事ができました。デザートとして本学科名物(?)のおからケーキが登場。ポン菓子やポップコーンの製造・提供もあり、爆音と共に一段と盛り上がりま

# 情報学部

# スーパーサイエンススクールを指導して

情報工学科教授 青井 秀樹

文部科学省では、日本の科学技術の発展を目指して、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定し、これをスーパーサイエンススクールと呼んでいます。全国で99校が、広島県では2校が指定を受けています。そのうち広島大学附属高校は平成15年に指定され、現在に至っております。広大附属高校では、2年生を対象に科学技術について1年間研究し、その成果を翌年の2月に発表します。

平成18年度のテーマ13件の一つが「太陽光発電とそのペイバックタイム」です。私の研究室では太陽エネルギーの有効活用について研究をしています。その関連で、広大附属高校の生徒(5人のグループ)と担任の先生から研究指導を依頼されました。そこで広島国際学院大学の私の研究室に来て頂き、日本のエネルギー全般の現状、地球温暖化と炭酸ガスの濃度との関係、太陽光発電の価格等についてお話をしました。また私の家の屋根には太陽電池を設置しておりますので、太陽電池や発電の装置を見てもらいました。この装置は7年前に設置し、発電量と電力会社への販売量のデータを毎日取っています。この実績データも使ってもらいました。実績値としてかなり貴重なものであると自負しています。

研究成果の発表は平成19年2月24日、広大附属高校で行われました。太陽光発電の環境への負荷、ペイバックタイム(設置の費用が何年で回収出来るか)など分かりやすく、また論理的な発表で、立派なものでした。これは生徒諸君が真摯に、かつ熱心に取り組んだ態度の反映だと思えます。指導者として大変満足しています。他の12件の発表のレベルも高く、世の中では理系離れと言われてはいますが、そうでもないと言う事を実感し、安心しました。



## 親睦を深める合宿 情報工学科

4月6日(金)、7日(土)に情報工学科の新入生オリエンテーションを行いました。広島市三滝少年自然の家に一泊し、新しい友人、本学科の先輩、教員と一緒にカレーライス(6日の晩ごはん)や手打ちうどん(7日の昼ごはん)を作り、親睦を深めました。6日の夜はそれぞれの部屋で、お菓子を食べながら新しい友人と話をすることもできました。このような形の新入生オリエンテーションは、今年度で3回目になります。これらの体験が今後の学生生活を豊かなものにするきっかけになれば幸いです。

## ゲーム大会で盛り上がる 情報デザイン学科

情報デザイン学科のオリエンテーションでは、最初に簡単な自己紹介をしてもらいました。このとき簡単なテンプレートを用意したおかげで、お互いのことがわかるような自己紹介になりました。自己紹介の後、授業内容と将来の仕事の関連について、著名なクリエイターのドキュメンタリービデオなどを見ていただきました。一年生のみなさんは食い入るように見していました。

食事の後、お互いの親睦を深めるためにWii Sports大会を開催しました。体を動かすゲームということもあり、プレイしている学生も観戦している学生も一緒になって盛り上がりました。会場の後ろに設置していた「太鼓の達人」も好評でした。

その後の一年生を見ていると、このオリエンテーションによっていい雰囲気が出来上がったように思えます。



新入生オリエンテーション

たてまち公開セミナー  
**「広島アニメーション文化シンポジウム」を開催**  
 地元出身の有名声優・檜山修之氏も登場! 若者を中心に150人以上が参加!



アニメシンポジウム

現在、国内外で日本のアニメーションやコミックス、ゲームなどが一種の文化として注目されています。我が国の政策レベルにおいても、「アニメ産業」を重視しています。すでに広島市では20年以上前から国際アニメーション都市・広島の実現へ向けた取り組みが行なわれてきました。また、近年では地元経済界でも同様の動きが見られます。こうした地域の流れに大学として対応すべく、3月18日(土)午後2時から立町キャンパスで「たてまち公開セミナー：広島アニメーション文化シンポジウム」を開催しました。イベントは、広島出身の声優・檜山修之氏をはじめ、地元自治体や経済界、ファン団体などの関係者、さらには学生などの多彩な出演者によるシンポジ

ウム形式で実施し、アニメーションというキーワードをもとに広島の地域文化を活性化する視点を話し合いました。広島におけるアニメ文化の主な担い手は、比較的若い年齢層が中心です。イベントを通じて、これらの若い方々に地域文化と本学の取り組みとの関係に関心を持っていただくことを期待しています。イベントの開催にあたり、学外、学内の多くの方々、関係団体の方々に多大なご支援とご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。

出演者：(所属は3月18日現在のもの)

パネリスト

- 島本登夫氏 広島市文化財団理事長、広島現代美術館館長
- 百々隆雄氏 広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金事務局
- 檜山修之氏 声優 (株)アーツビジョン所属
- 藤山太一氏 LMM代表
- 服部朝美氏 代々木アニメーション学院広島校声優タレント科

コーディネーター

- 谷口重徳 現代社会学部 准教授

**新入生歓迎フットベース大会**

去る4月6日(金)には新入生歓迎のオリエンテーションが行われました。午前中に、現代社会学部に隣接する瀬野川公園までお散歩して、お昼御飯を食べた後、午後からは各ゼミ対抗のフットベース大会を開催しました。試合には、上級生数名が助っ



フットベース大会

人として参加してくれ、さらに教職員によって急遽編成された「その他」チームも試合に参加しました。試合は1時間半程度の間に2試合あり、2試合の合計得点が多いチームが優勝というルールで行われました。最初は「かったるいなー」などと言っていた新入生たちでしたが、第1試合で負けたチームでも優勝が可能なルールだったこともあり、徐々にガチンコモードになっていき、各試合とも、かなりの大熱戦になりました。結局、優勝は奥菌ゼミ・チーム、第二位は高畑ゼミ・チーム、第三位は岡部ゼミ・チーム、ブービー賞は「その他」チームが獲得し、後日行われた表彰式では健闘を讃えあいました。



お花見

**カレッジライフ講演会「夢に向かって!」**

現代社会学部就職課 黒川 公吾

広島東洋カープで不動の4番バッターを務められた往年の名選手で、引退後はセ・パ数球団を通じて多くの有名選手を育てられた山本一義さんを4月10日現代社会学部にお招きし、1年生から4年生の学生に将来のビジョンを描いてもらうことを目的とした、カレッジライフ講演会を開催しました。

講演では、山本さんご自身の体験をもとに「自分自身でできないと考えたら実現できない」「何が正しいか、わかってやり続けることが大事である」「夢を、目標を達成するために一番必要なことは「やる気」である」、さらに「「やらされる気」からは何も起こらない」「自分自身が己自身の人生の責任者である」と、学生たちに熱く語っていただきました。

講演終了後も、しばらく学生たちからの感謝の意を込めた拍手は鳴り止まず、山本さんの「みなさん一人ひとりの持つ能力を最大限に高めてほしい」との願いは、確かに届いたようです。



カレッジライフ講演会



一級整備士をめざして

短期大学部 整備士国家試験事務局 野吹 幸男

3月25日に行われた自動車整備士試験の合格率は下表のとおりです。一級整備士(筆記試験)は3年連続全員合格というすばらしい結果となりました。今年は全国平均合格率が18%と超難関であったにも関わらず、このような快挙となったのは本人達の不断努力と本短大の教育の成果であります。国家試験に向けて後期から本格的な受験準備を開始し、2月に入ってからは口述試験も含めた献身的な個人指導を行って来ました。この一級整備士については、5月に行われた口述試験のために連休中も引き続き指導が行われました。一方、二級ガソリン整備士については99.2%で、全員合格を達成した昨年には一歩及ばず、また、二級ジーゼル整備士は85.7%でした。二級関係も前期整備講習会をするなど、早期に基礎学力の向上に取り組み、後期に入って本格的に実技試験免除のための講習会を実施しました。この間に110回を超える模擬試験及び補習に加えて、教員一人あたり4~6名の学生を対象とする個人指導など、徹底した指導体制でのぞんだ結果です。学生と教員が一つの目標に向かい一丸となって取り組んで行くことにより、学生の勉学に取り組む姿勢が日々真剣味を増して受験直前には、学生自らが勉強を楽しんでいる様子が見られるようになります。このような変化は学生にとって財産となったと思えますし、また指導する教員にとってもやりがいと次の更なる飛躍への勇気を与えてくれるものとなりました。



口述試験模擬

3月25日に行われた自動車整備士試験の合格率は下表のとおりです。一級整備士(筆記試験)は3年連続全員合格というすばらしい結果となりました。今年は全国平均合格率が18%と超難関であったにも関わらず、このような快挙となったのは本人達の不断努力と本短大の教育の成果であります。国家試験に向けて後期から本格的な受験準備を開始し、2月に入ってからは口述試験も含めた献身的な個人指導を行って来ました。この一級整備士については、5月に行われた口述試験のために連休中も引き続き指導が行われました。一方、二級ガソリン整備士については99.2%で、全員合格を達成した昨年には一歩及ばず、また、二級ジーゼル整備士は85.7%でした。二級関係も前期整備講習会をするなど、早期に基礎学力の向上に取り組み、後期に入って本格的に実技試験免除のための講習会を実施しました。この間に110回を超える模擬試験及び補習に加えて、教員一人あたり4~6名の学生を対象とする個人指導など、徹底した指導体制でのぞんだ結果です。学生と教員が一つの目標に向かい一丸となって取り組んで行くことにより、学生の勉学に取り組む姿勢が日々真剣味を増して受験直前には、学生自らが勉強を楽しんでいる様子が見られるようになります。このような変化は学生にとって財産となったと思えますし、また指導する教員にとってもやりがいと次の更なる飛躍への勇気を与えてくれるものとなりました。

		卒業者数	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
1級	筆記試験	5名	5名	5名	100%	18.1%
2級	ガソリン	121名	118名	117名	99.2%	86.8%
	ジーゼル	121名	49名	42名	85.7%	77.5%

## 第3回交通安全セミナー実施

短期大学部 生活指導委員会 越智 三千彦

短大では3年前から毎年、海田自動車学校の協力により、新入生対象のオリエンテーションの2日目に学生の交通事故軽減対策を目的としてセミナーを開催しています。

今年は4月7日(土)、海田警察署の参加も頂いて実施しました。先ず、海田警察署交通課長による交通事故の恐ろしさと安全運転についての講話のあと、満開の桜の下、スクールバス転回場を会場に海田自動車学校指導員による安全運転の実技指導が行われました。内容としては、新入生の運転免許取得者にも協力してもらい、指導員の方から座席を倒したり、身体を横に向けたり、座席を後に下げ過ぎたりと、運転姿勢の良否の実例を示して頂き、正しい姿勢によってはじめて安全に車を走らせることが出来るという基本を学びました。また、シートベルトが如何に自分を守ってくれるか、コーナリングにおける走行方法など車に働く遠心力の影響やABSの体験なども的確に指導して頂きました。またA級ライセンス所持の本短大教員による模範実技指導での優れた運転技術の披露なども学生たちの注目を集めました。



参加者は交通事故の類型や悲惨さについてより理解を深め、なによりも大切な人命尊重の精神を一人一人が心に深く刻んだことと思われれます。こうして厳しいなかにもなごやかな雰囲気ですべてを終えることができました。新入生は長時間のオリエンテーションの後にもかかわらず、疲れも見せず真剣に講習を受けてくれたことが印象的でした。



原爆の熱線体験

来校前日に広島入りしたフランス北部・ディデロ高校一行18名(生徒15名・引率教師3名)は平和公園で資料館を見学し、被爆者の体験談を聞きました。

来校当日、海田市駅前にバスで出迎えに行きました。バスに吊り下げられたフランス国旗を見て、彼らは大いに感激した様子でした。本校に到着後直ちに実習場に移動し、原爆の熱線を体験。ガスバーナーで焼かれて溶けていく瓦を見て、前日の原爆資料館のことや被爆者の体験談などが彼らの脳裏をよぎったようです。

昼食は本校の食堂で摂りましたが、一番人気は唐揚げランチでした。昼休憩は中庭で本校生徒たちとの交歓会。身振り、手振りでの会話、写真撮影などで和やかな雰囲気でした。

午後からは教室に入って意見交換会。5テーブルそれぞれにフランス人生徒3人、本校生徒3人が向き合っており、自己紹介から始まり、フランスと日本の

文化・習慣の違い、学校の違い、ボーイフレンドのことなど多種の話題に花が咲きました。しかし「核保有国フランスは核兵器を廃棄すべきではないか」と質問した時、彼らが一様に「ノン」と答えたことには驚きを禁じ得ませんでした。

彼らは全員高校3年生で、課題研究として原爆のことについて約2ヶ月間学び、その延長としてヒロシマへ、平和公園へ、そして平和学習に取り組んでいる本校にやってきたのです。その積極性と行動力は敬服に値するものです。

短時間の国際交流でしたが、双方の高校生にとって有意義な一日でした。



日仏の若者たちの議論

家族のような絆  
イギリスホームステイ体験

姉妹校だから体験できたこと

国際交流室長

土肥 穰治



警察官と一緒に(ロンドンにて)

味わうことでしたが、逆に、自分自身、日本のことについてまだまだ知らない部分がたくさんあることも思い知ることになりました。

とにかく、本当に楽しい2週間でした!!毎日が刺激的で充実していたのでホームシックになる暇もないくらいでした。イギリスに着いた時はとても不安で、ホストファミリーに最初に会った時はYesとNoとOKぐらいしか言えず、2週間が早く過ぎればいいのにと感じていました。言葉が分からなくても一生懸命話せば何とか通じることが分かってからは毎日が楽しくなりました。



「さよならパーティ」にて

2007年春休み、12名の生徒がイギリスの姉妹校ベックフットスクールを訪ねました。ホームステイ、学校での授業や交流はもちろん、正式なアフタヌーンティを体験し、ホストファミリーの生徒と一緒にケンブリッジ大学を訪ね、寮に宿泊しました。さらに、ロンドンでは、イギリスの学校の生徒にだけ許されているテムズ川に係留されている軍艦ベルファストに宿泊することもできました。こんな貴重で有意義な体験ができたのは姉妹校のおかげです。参加した生徒は次のように綴っています。

『ホームステイは楽しい思い出ばかりです。私の目的は異文化を

一番うれしかったことは「英語がしゃべれないからごめんなさい」と言った時、「心配しないで。あなた達が来てから私たちは幸せ」って言ってくれたことです。とても温かいホストファミリーで、別れの日は悲しくて、ずっとイギリスにいたいと思いました。日本に帰りたくなかったです。手紙には「あなたが来てくれてとってもうれしかった。必ずまた来てね」と、優しい言葉があり、感動しました。本当の家族みたいでした。また、イギリスに行ってホストファミリーと再会したいです。他にも一杯思い出ができました。イギリスに行って本当に良かったです!!』



湖水地方のホテル前にて



「皆よく頑張りました。」

## 努力の結晶 堂々の3位

西日本高校選抜選手権大会 ソフトテニス部

顧問 加藤 幸子

今年3月、山口県小野田市で開催された西日本高校選抜選手権大会に本校ソフトテニス部が出場、見事3位に入賞しました。西日本各地から参集した精鋭80チームが覇を競った今大会で、本校チーム(岡田浩樹・谷崎義竜、竹本周平・森健太、長尾友彰・山崎翔太)は準決勝まで駒を進め、神辺旭高校(広島)と互角に戦ったものの今一步及ばず1-2で惜敗しました。とは言え、全国高校総体でも常連の強豪チームを相手に大善戦しての3位入賞は大いに励みになりました。技術面だけでなく、精神面を鍛えていくことも大きな課題だと思っています。

本校のソフトテニス部は現在、総勢36人の部員を擁する大所帯です。一面しかないコートをやりくりしながら、団体・個人の全国大会ダブル出場を合い言葉に日夜練習に励んでいます。

中国高等学校ゴルフ選手権大会  
法崎さんぶつちぎりと連覇

中国高等学校ゴルフ選手権大会

顧問 橋田源太郎

第27回中国高等学校ゴルフ選手権大会が3月末、広島カントリー・西条コースで開催されました。36ホール・ストロークプレーで2日間行われた大会で、本校ゴルフ部の法崎佳成子さん(普通科3年)が昨年11月に続き連覇しました。

全国大会の予選を兼ねたプレッシャーの中で1日目は、3アンダー・69、2日目、3オーバー・75、トータル144という好スコア。県外勢を寄せつけず、2位に7打差をつけてのぶつちぎりで優勝でした。

日頃の努力が実を結んだこの結果に、心から拍手を送りたいと思います。皆さんも今後の法崎さんの活躍を見守ってください。



夢を追い続けます!!

## 挑

## ポイントレース2位

全国高校選抜自転車競技大会

総合システム科3年 野中 竜馬

★ 僕はこれまで県大会や中国大会では好成績を残すことができてきたが、全国大会ではなかなか力を出せませんでした。試合前にあれこれと不安がよぎり、自信が持てないままレースに臨んでいて、周りの選手のほとんどが自分より強く見えました。それで勝負どころの苦しい場面で精神的に負けてしまい、結果が残せなかったのだと思います。

★ 選抜大会はその反省の上に立ち、「あれだけ練習してきたのだから誰にも負けるはずがない」と開き直ってレースに挑みました。結果は第2位。やっと全国の表彰台に上がることができました。次は優勝しかありません。高校生活最後の「全国高校総体優勝」目指して今日もまた仲間とともに100km走に挑戦します。



「ヤッター!!」会心の笑み

## 地域の人たちに愛されて IN 阿戸町・江田島市

吹奏楽部顧問 中島 洋治

2006年度の締めくくりとして、本校吹奏楽部は2つの演奏会に参加しました。3月24日の「あーとミュージックフェスタ2007(阿戸公民館)」と、3月25日の「ふれあいヒューマンコンサート(大柿中学校)」です。いずれも地域の皆さんや地元の中学生、小学生が対象なので、楽しくそして聴衆も参加できるような企画で臨みました。演奏曲目は「となりのトトロ・メドレー」や「ミッキーマウスマーチ」、「ラブソディー・イン・ブルー」など。歌謡曲からアニメソングまで歌あり踊りありのステージを展開し、大きな拍手をいただきました。特に大柿では江田島中・能美中・大柿中の吹奏楽部との合同演奏もあり、本校の部員も中学生との交流を楽しんでいました。



これからも地域に愛される吹奏楽部を目指して活動していきたいと考えています。

# 学友会主催・新入生オリエンテーション

学友会会長 **矢尾 俊祐** や お しゅんすけ

4月7日(土)、中野キャンパス体育館にて新入生オリエンテーションが行われました。この行事は新入生にサークルの紹介を、在学生には新入生のサークル勧誘をする機会として毎年行われているものです。

今年は大学のガイダンスに被ること無く、この行事単独で日にちを取れ、準備進行での不安材料が減ってくれたのは大変有難いことでした。

去年出来なかったサークル紹介冊子「窓」の制作も無事に終わり、当日には配ることが出来ました。仮入部をする学生が意外と多い所が出てきたりと、驚かされる場面も何度かあったのがとても印象的でした。

今年もそれぞれステージ上で発表をすることでアピールしたり、ユニフォーム等を着込んで話を弾ませながら勧誘したりする場面もありました。茶道部の茶会に参加する新入生の姿も印象に残りました。

今年度から積極的に活動を開始するサークル「吹奏楽愛好会」「映画研究会」「バイオ・リサイクル学科実行部会」と、また新しい団体が出来たことも学友会として嬉しく思います。

ステージでの締めくくりは音系サークルによる演奏です。今年は「ブレイクダンス愛好会」から始まり、新規参加の「吹奏楽愛好会」のバンド演奏も加わることでより華やかなモノとなりました。吹奏楽愛好会はこの日に合わせて練習を続け、前日は遅くまで残っていたし、当日も本当に朝早くから集まって調整を重ねていました。その姿を見ていると、サークルがとても大きな存在なのではないかと思うようになりました。

毎回音響周りの設置やステージ進行の相談に乗って頂き、これらの行事を支えてくださったVOD(放送通信研究会)には、参加したサークルも含め感謝の気持ちでいっぱいです。私達学友会の活動は、あくまでサークルが主体です。これからもサークルさんが活躍できる場を提供し、大学全体が盛り上がりたければよいと考えています。

実際に終わってみて、新しい課題も出てきました。この経験を来年度に活かして行きたいと思います。



サークル紹介冊子「窓」

## 私の大学生生活

### 勝負するからは優勝したい! 柔道に打ち込む

現代社会学部 現代社会学科 3年 **養庵 沙織** ようあん さおり

大学に入っていつの間にか3年目となり、今まで過ごした時間がうそのように去っていきました。「うそのように」といっても、自分に大きな変化をもたらした時間でもあります。親元を離れて暮らすこと、90分の講義に慣れること…挙げればまだまだたくさんありますが、私に一番変化をもたらしたのは柔道です。

私は教員になることを目指し、勉学に励んでいます。そのきっかけとなったのが柔道でした。勉強を教えながらも、柔道を続けたい。それが中学からの夢であり、今の目標でもあります。大学には柔道部がありませんので、入学以来私は個人で柔道を習っています。多くの人に助けられて、昨年は中国四国学生大会個人戦で3位に入賞することができました。しかし、私にとって3位はよい結果とはいえません。勝負をするからには、やはり「優勝したい」と思うのです。

不本意な結果の一因は、私の柔道に対する甘い考えでした。個人で活動する場合、部活(サークル)とは違う他人への配慮がいる一方で、すべての行動を自分で決めることとなります。時には自らに甘え、鍛錬を怠り、支えてくれる人たちに迷惑をかけることもあります。このことでつらく、苦しいと思うときもありますが、他方よい経験をしたとも思います。後々この経験が自分に大きな影響を与え、自らの糧になると思うからです。

自由な大学生活をいかに過ごすかは本人次第。それを自分にとってどれほどの力とし、役立つものにするかもまた本人次第。私はこの自由な生活の中で、個人で行動するときの決断力の必要性和、周囲の人たちに支えてもらっていることへの感謝を今まで以上に身に沁みて感じました。残る大学生活も半分を切り、将来について考えなければなりません。以上を踏まえ次の自分に役立てられるよう生活しようと思っています。



広島国際学院高校で練習に励む

## 留学生の声

# 人のために何かしたい! 中・日・韓の3カ国語でボランティア

情報学部 情報工学科 3年 <sup>り</sup>李 <sup>とくてん</sup>得天

私は李 得天と申します。出身地は中国の吉林省です。現在、情報工学科の三年生として勉強しています。

中国にいるときから電子計算機系に関心を持ちましたが、日本語専門学校を出てからは滋賀大の経済学部で経済経営を研究したり、大学も転々と変えたりして、今は広島国際学院大学でコンピュータに関して勉強しています。

広島に来ていろいろボランティアをやっています。友人に連れられて原爆ドームや平和公園に行ったとき、不幸な過去にも負けず、素晴らしい都市再建に力を注いだ広島の人々に、何かしてあげたいと思ったからです。私は中国語と日本語、韓国語を普通に話せるので、国際センターにボランティア登録をして昨年からは頑張っています。初めて参加したのは、五日市高校の高校生との国際交流でした。そのときは凄く楽しかったです。しかし、ある中学校へ行ったときはそうではなかったです。中学生から政治に関する質問をされたとき、驚いたのが外国でありながら、一番近い国のことをマスコミのニュースでしか知らないことでした。

また、中国から着いたばかりの中国留学生にも三ヶ月間日本語を教えたり、この前までは、宮島の公民館で半年間韓国語を島の人々に教えたりしました。人に教えるのが初めてだったので、逆に私が勉強になったところが多いです。ボランティアを始めてから、金銭で買えないものを得たような気がします。それは人のために何かができることです。

現在は学校の勉強をしながら、空いている時間を利用して中国語と日本語の通訳・翻訳の試験準備もしています。私にとって大学は、自由な時間に自分が好きな勉強をすることができる場所だと思います。ただ、専門知識は選んだ学校でしか学習できないことが多いです。



堂々の準優勝!

## 学生時代の思い出と社会人になって思うこと 努力で勝ち取った準優勝

広島トヨペット株式会社 三篠店 サービス営業課 <sup>うえみや</sup>上宮 <sup>つよし</sup>剛  
自動車工業科 平成9年3月卒業

去る5月12日(土)、名古屋で行われた第28回全国トヨペットサービス技術コンクールに出場し、準優勝しました。

私が技術コンクールを初めて知ったのは自動車短大を卒業した後、入社2年目のことでした。その年の第25回大会の地区予選と全国大会に応援に行ったのがきっかけです。当時はまさか自分が出場するとは思ってもいなかったのですが、全国から選りすぐられた選手達のキビ

キビとした動作や作業スピードを見てとても驚きました。そして、自分も職場でその様な動きが出来ればどんなにかっこいだろうかと感じ、その後は仕事に取り組む姿勢も大きく変わっていきました。

代表選手として選ばれるために、トヨタ技術検定1級取得などあらゆる努力を続け、ようやく挑戦権を獲得しました。しかし出場するだけでなく全国優勝を目指して、知識、技術、顧客対応能力など、エンジニアとして必要なもの全てにおいてレベルアップさせるために、その何倍もの努力をしました。コンクール選手になると一年間に及ぶ集中教育があり、教育以外でもトヨタ検定指導員やトヨタ自動車の開催する講習への参加など、様々なことを経験しました。広島トヨペットでは、そういった個々のスキルアップを図ることにより、会社全体の技術力を高め、お客様に満足いただいているのだと思います。

振り返ると、短大時代に自動車の基礎をしっかりと学んだことが現在も生きています。社会に出てからも学んだことを応用し、日々を一生懸命取り組むのが大切であると感じました。

全国大会で準優勝という結果を出すことができましたが、学校で学んだ自動車の基礎を忘れず、更に応用力を伸ばし優勝できる後輩を育成していこうと思います。

バイオ・リサイクル学科にはバイオ系とリサイクル系の研究室があります。この研究室はバイオ系研究室の1つで、有用微生物の研究を行っています。

私たちの周りにはたくさんの微生物がいます。その中で、土の中にいる放線菌は、薬の‘たね’になる物質(生理活性物質)を生産するとても有益な微生物です。放線菌は菌糸状に生育するバクテリアの仲間で、カビの仲間ではありません。この放線菌の新種を探索する研究を行っています。



微生物から取り出したDNA

しかすると‘夢の新薬’をつくる菌が見つかるかもしれません。さらに放線菌の遺伝子の研究も行っています。放線菌がなぜ生理活性物質を生産するのか遺伝子のレベルで解明していこうと考えています。

放線菌は様々な難分解性物質の分解酵素を生産し、地球の物質循環や環境浄化などにも貢献している微生物です。微生物学や遺伝子工学の技術を駆使した放線菌の研究から、社会に貢献できるような情報を発信していきたいと思えます。



放線菌のコロニーと菌糸の顕微鏡写真

## 工学部 バイオ・リサイクル学科

しん かわ ひで のり  
新 川 英 典 研究室

### 有用微生物「放線菌」とその遺伝子の研究

## 情報学部 情報工学科

たか いし たけ し  
高 石 武 史 研究室

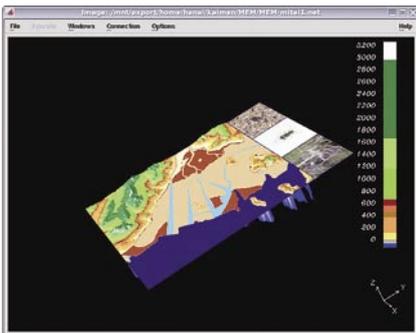
### いろんな現象をわかりやすく

本研究室では、数理モデルのシミュレーションとデータの可視化を大きなテーマとして卒業研究を行なっています。数理モデルとは、実際の自然などに現れる複雑な現象から特徴を見つけ出し、その特徴のいろいろな振る舞いを調べるために作り出すシンプルなモデルです。このモデルを使ってコンピュータでシミュレーションを行なうことによって、そこに現れる不思議な時間変化や、パターン(模様)の動きの面白さを調べます。

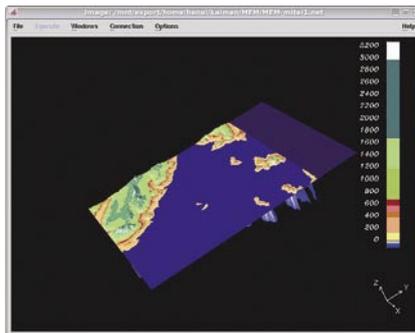
一方、そのようなコンピュータで行なったシミュレーションやいろいろな測定からは多くのデータが出力されますが、それらを人間の目で把握するのはそのままでは難しいものがあります。そこで、データの中から必要なものを選び出し、適切な方法で画像を作成することが重要です。このような作業をデータの可視化と呼びます。

昨年度の卒業研究では、数理モデルのシミュレーションとして3次元熱対流の数値計算を、またデータの可視化としてはひまわり撮影画像から安芸地区の空模様の3D CGを作成したりしました。その他にも、実際の株価データでの売り買いのシミュレーション、地球温暖化による広島市の水没、赤青メガネを使った立体画像アプリケーションなど、学生は各々の興味に応じたテーマについて研究を行なっています。

コンピュータを使って何か新しいものを見つける、または何か役に立つものを作ることを目標に、今日も学生達と模索する日々を送っています。



現在の広島市



広島市 海面上昇後(10m)

# の 紹 介 ● ● ●

本学に奉職して3年目を迎えました。職場環境にもなじみ、だいぶ自分のペースをつかめてきたような気がしています。

私の研究テーマは、現代社会において「心のケア」に対するニーズが高まる背景には、どのような社会的土壌や時代的要請があるのかについて知識社会学的に検討することです。知識社会学という分野では、ある知識や考え方が社会に広く普及する場合、それがどのようにして可能になったのかについて社会変動や社会意識の変化との関連で分析します。おかげさまで、先頃、これまでの研究成果を単行本として出版する機会にも恵まれました(『心』をめぐる知のグローバル化と自律的個人像(学文社)、『現代文化の社会学入門(ミネルヴァ書房)』など)。

現在、4年生と3年生のゼミを担当させて頂いていますが、4年生は山田ゼミの記念すべき(?)第一期生となります。ゼミには女子学生が多いのですが、活気にあふれており、議論も活発で頼もしく思います。多少高めめのハードルを設定しても頑張ってきてくれたゼミ生たちが、どんな卒論を書いてくれるのか今から楽しみにしております。

ゼミ生たちの関心は様々ですが、中には社会福祉士の資格取得をめざしている人もいます。社会福祉士は合格率が3割に満たず、福祉分野では最も難しい国家資格といっても過言ではありません。取得するのが容易ではない分、有資格者に対する社会的評価は高いため、将来福祉に関わる職業に就きたい学生さんには取得をお勧めしています。私も学生さんたちの受験勉強に付き合ったり相談に乗ったりするなどして応援している毎日です。



近著を手にした筆者

## 「心のケア」の知識社会学

## 現代社会学部

やま だ よう こ  
山 田 陽 子 研究室

## 廃エンジンオイルリサイクル用高温過熱水蒸気発生器の開発

大学院 工学研究科電気電子工学専攻修了 <sup>かみ</sup> <sup>のぶ</sup> <sup>かつら</sup>  
神 信 桂

近年、過熱水蒸気はヘルシオ\*などに代表されるように食品など様々な分野への応用が進んでいます。過熱水蒸気とは高いエネルギーを持つ水蒸気の事を言います。研究を進めた結果、私は過熱水蒸気を今までに無い600℃という高い温度で安定に発生させる装置を開発しました。

その中で、様々な製品のリサイクルへの関心も高まってきており、それに伴って法律などの整備も進んでいます。自動車についても使用済自動車の適正処理を図るため2002年に自動車リサイクル法が成立し、公布されました。これは使用済自動車のリサイクル率を2015年までに95%に上げるという内容ですが、現在では81～83%ほどリサイクルがすすんでいます。しかし、そのような中でも廃エンジンオイル及び廃冷却水は様々な理由からリサイクルが困難となっています。このような事から、我々の開発した装置における一つの使用例として、自動車から出る廃エンジンオイル及び廃冷却水を過熱水蒸気により分解し、メタンやプロパンのような可燃性ガスを発生させるという実験を行いました。

ゼロから立ち上げたという事もあり、装置の製作自体に苦勞したのですが結果としては装置の開発に成功し、可燃性ガスの発生にも成功しました。しかし、この装置は冒頭にも述べたように食品など、他分野への広い応用も期待できると考えています。今後の発展については後輩達に期待したいと思います。

\*ヘルシオ：シャープ製のウォーターオープン



発表する筆者

# 学生の意欲を応援、充実の奨学制度

## 本学の奨学制度

本学では学生支援を目的とし、学生が有意義なキャンパス・ライフを送れるように奨学制度に力を入れています。特に、スカラシップ奨学制度・森奨学制度・広島国際学院大学自動車短期大学部奨学制度の3つは、学生の学費負担を軽減することで、学生が学業に専念出来る環境づくりを目指しています。これらの奨学制度は本学の学生を対象とし、毎年学生が採用されています。その他にも下宿生支援奨学制度や兄弟姉妹等奨学制度など、バラエティ豊富な奨学制度を設けています。詳しくは、学生部に問い合わせるか、本学のウェブサイトでチェックしてください。

[http://www.hkg.ac.jp/html/g\\_campus/scholarship\\_fr.php](http://www.hkg.ac.jp/html/g_campus/scholarship_fr.php)

## 奨学生の声



工学部 電気電子工学科 4年 井上 啓示<sup>けいし</sup>さん

私は、学費を親に負担してもらっています。そのため親には大きな負担をかけることになっていましたが、今回スカラシップ奨学生に選ばれて、親への負担を大きく軽減することが出来ました。そのことで親もとても喜んでくれましたし、今まで頑張ってきたことが認められた感じがして私自身も嬉しくなりました。今回のことで今まで以上に頑張っていきたいと思っています。

## 学生証のICカード化について

広島国際学院大学では、2007年4月より広島地区の大学で初めて学生証のICカード化を実施しました。導入したICカード(FCFキャンパスカード)は、FeliCa(フェリカ)と呼ばれるソニー(株)が開発した非接触ICカード技術を用いています。

現時点ですでに電子マネー、入退室管理、Web管理(ログイン・ログオフ)等といった機能の追加を学生が要望しています。今後さらなるICカードの利便性を追求し、学生サービスの向上を目指して新たなアプリケーションを早期に追加したいと考えています。



### ★ 今後の主な行事予定

- 学 院 創立80周年記念行事 (10/31)
- 大学・短大 エリア・クリーンキャンペーン (大学友会・6/1) 水無月祭 (短学友会・6/2)
- 学外展 (大学友会・6/16~17) クリーンキャンペーン (短学友会・6/29)
- 期末試験 (工・情・7/26~8/2 短・7/26~31)
- 夏期休業 (工・情・8/3~9/17 現・8/1~9/18 短・8/1~9/15)
- オープンキャンパス (大・7/29、8/5 短・7/1、7/29、8/26、9/30)
- AOスポーツ入学試験 (大・9/10) マツダ見学会 (短・9/14)
- 後期ガイダンス (工・情・9/18~19 現・9/19~20 短・9/18)
- AO入学試験 (短・10/6) 高城祭 (大学友会・10/27~28)
- 高 校 体育祭 (6/16) 創立80周年記念芸術鑑賞会 (6/20) 期末考査 (7/5~10)
- 終業式 (7/20) 夏期休業 (7/21~8/31) 始業式 (9/1)
- オープンスクール (9/30) 中間考査 (2年・10/3~6 1・3年・10/11~16)
- 修学旅行 (2年・10/11~15) 英国姉妹校来校 (10/18~28)

69号訂正：13ページ・同窓会役員一覧表 高校副会長 奥田幸一<sup>くどうみちよ</sup>さん、林昭治<sup>やまふじちよみ</sup>さん、村上範美<sup>やまふじちよみ</sup>さんに加え、工藤三千代<sup>くどうみちよ</sup>さん、山藤千代美<sup>やまふじちよみ</sup>さんの計5人です。

この広報誌はホームページでご覧になれます。 <http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/kouhou/>